

令和2年7月22日

福知山市議会議長 芦田 眞弘 様

総務防災委員会委員長 森下 賢司

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第22号 福知山市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- ・議第23号 福知山市消防団員等公務災害等補償条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議第27号 工事請負契約の変更について
- ・議第29号 物品の取得について
- ・議第30号 物品の取得について
- ・議第31号 物品の取得について
- ・議第32号 物品の取得について
- ・議第35号 専決処分の承認について

2 審査の概要

7月14日に委員会を開催し、市長公室、財務部、市民総務部及び消防本部から議案について詳細な説明を受け、議案審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第22号について、「固定資産税の課税で、相続登記がされていない場合、現行では、申告義務なしで課税庁独自の取組みにより課税ということだが、その内容と改正点」の問いに対し、「現行は、死亡の場合、相続人代表届を出してもらい課税を行っているが、条例化により使用者本人に申告していただくこととなり、使用者本人に申告意思を持ってもらうとともに、相続人調査にかかる労力が軽減され事務の効率化が図られる。」との答弁がありました。

次に、議第23号について、「事故発生日における法定利率に改める訳だが、現在の法定利率」を問う質疑があり、「現在の利率は3%である。」との答弁がありました。

次に、議第27号について、「屋外スピーカー新設数と場所」を問う質疑に対し、「夏

間、千束、上川口小学校、大正小学校地内の4局である。」との答弁がありました。

次に、議第29号について、「本年12月納入予定だが、市民に配布される時期」を問う質疑に対し、「本年度中は、デジタルとアナログ電波の併用であり、本年度できるだけ早く配布をしてデジタル式に置き換えていきたい。」との答弁がありました。続いて、「希望者には戸別受信機の貸与を検討、とあるが、その予算措置」を問う質疑に対し、「来年度以降の予算で考えていきたい。」との答弁がありました。

次に、議第30号について、「はしご付消防ポンプ自動車の使用期限と、現在の車両の使用年数」を問う質疑に対し、「使用期限は運用開始から17年である。現在の車両は平成14年式であり、17年経過している。」との答弁がありました。

次に、議第31号について、「現在使用中の高規格救急自動車の使用年数と、現行車両の処分方法」を問う質疑に対し、「平成21年の導入で、11年経過している。今回、防衛省の補助事業により、廃車を指示されているため廃車処分となる。」との答弁がありました。

次に、議第32号について、「5台の配置先分団」を問う質疑に対し、「多機能型小型動力ポンプ付積載車は修斉、河守上の2分団、小型動力ポンプ付積載車は中央、大正、細見の3分団である。」との答弁がありました。

次に、議第35号について、「給与等の条例改正は専決処分ではなく、本来議会の議決をとるべきものだが、専決処分の考え方」を問う質疑に対し、「第6次行政改革期間中は市長等の給与を減額する考えに立っており、減額の空白期間を設けないためにも専決処分をした。」との答弁がありました。また、委員からは「平成24年の6月定例会委員会質疑でも同様の意見が出されており、今後専決処分のあり方については慎重に検討して頂きたい」との意見がありました。

その他、報第2号についても所属部署から詳細な説明がありました。

反対討論

なし

賛成討論

なし

3 審査結果

- ・議第22号 全員賛成で原案可決
- ・議第23号 全員賛成で原案可決
- ・議第27号 全員賛成で原案可決

- ・議第 29 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 30 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 31 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 32 号 全員賛成で原案可決
- ・議第 35 号 全員賛成で原案承認